

団塊世代の創造性を活かした 地域パートナーシップ・センター運営

“団塊おせっかい運動”の拠点としても機能 07年1月 発案 桜井

- ★ 受け売りを嫌い、創造性を好む団塊世代による地域運営のためのシステムづくり。行政から独立し、自由な発想と創意工夫で時代の求める地域社会の運営を目指す。
- ★ 地域の学校や病院、商店街、町内会、ボランティア団体、サークルなどの情報を一元化してマネジメントし、地域社会の住民の利便性を高め、従来のともすると閉鎖的・縦割り型コミュニティから、オープンで情報を共有し、人的交流度も高いコミュニティを運営するパートナーシップ・システムの開発。団塊世代の能力を活用したプロジェクト。
- ★ センター設置場所 商店街の空き店舗を拠点として活用。空き店舗対策助成金活用。
- ★ **地域情報センター** 地域情報を一元化して収集・発信し、地域住民が暮らしやすいよう地域ネットワークを構築。地域電子回覧板の活用。例- 小学校が、通学路パトロールボランティア募集 お年寄りの戦争体験話イベント案内 商店のパート募集
- ★ **地域交流センター** お年寄りと子ども達の交流、団塊女性によるヤンママ育児支援、団塊男性による地域サークル運営など、地域住民同士のコミュニケーションを深めるふれあい拠点を団塊世代が運営。小・中学生からの「いじめ相談」なども実施。
- ★ **地域キャリアセンター** ビジネス経験を活かし、団塊世代が教育指導したり、アドバイザーになり、地域の主婦やフリーターのキャリアアップを支援。
一方で、団塊世代の起業を支援したり、団塊世代による商店の事務・経理業務の請負、商店街のイベント企画請負なども行う。
- ★ 1小学校区に1～2箇所設置。地域の団塊世代を中心に運営。
- ★ 自治体と協働で効率的に地域を運営。役所をリストラして、住民税も減税へ。
- ★ ITに強い団塊世代による究極の社会貢献